

安心:すべての国民が安心しておいしく飲める水道水の供給 ↑ 高いほどよい — データなし

a) 水資源の保全

↓ 低いほどよい 無印 高い、低いの基準は事業者による

番号	業務指標	評価目安	座間市(H17)		座間市(H18)	指標の意味
1001	水源利用率(%)	↑	49.5		48.8	水源のゆとり度や効率性を表す
1002	水源余裕率(%)	↑	79.4		85.0	水源のゆとり度や効率性を表す
1003	原水有効利用率(%)	↑	94.7		96.1	原水利用の有効性を表す
1004	自己保有水源率(%)	↑	54.1		54.1	水源運用の自由度や渇水時の融通性を表す
1005	取水量1立方メートル当たり 水源保全投資額(円/立方メートル)	↑	-		-	水源保全に対する取組状況を表す

b) 水源から給水栓までの水質管理

番号	業務指標	評価目安	座間市(H17)		座間市(H18)	指標の意味
1101	原水水質監視度(項目)	↑	*48		*62	原水監視の取組状況を表す
1102	水質検査箇所密度(箇所/100平方キロメートル)	↑	29.5		35.4	水質検査の実施状況を表す
1103	連続自動水質監視度(台/(1000立方メートル/日))	↑	0.050		0.050	連続自動水質監視装置による水質検査の実施状況を表す
1104	水質基準不適合率(%)	0%が基本	0		0	水道水の安全性を表す
1105	カビ臭から見た おいしい水達成率(%)	↑	100		100	カビ臭に関する水質基準の達成度を表す
1106	塩素臭から見た おいしい水達成率(%)	↑	75		100	残留塩素濃度から見た、おいしい水研究所による「おいしい水」の要件達成度を表す
1107	総トリハロメタン濃度 水質基準比(%)	↓	4		3	総トリハロメタンの水質基準に対する検出状況を表す
1108	有機物(TOC)濃度水質基準比(%)	↓	10		8	有機物質の水質基準に対する検出状況を表す
1109	農薬濃度水質管理目標比(%)	↓	0.000		0.000	農薬の水質基準に対する検出状況を表す
1110	重金属濃度水質基準比(%)	↓	0		0	重金属の水質基準に対する検出状況を表す
1111	無機物質濃度水質基準比(%)	↓	11		12	無機物質の水質基準に対する検出状況を表す
1112	有機物質濃度水質基準比(%)	↓	0		0	有機物質の水質基準に対する検出状況を表す
1113	有機塩素化学物質濃度水質基準比(%)	↓	6		7	有機塩素化学物質の水質基準に対する検出状況を表す
1114	消毒副生成物濃度水質基準比(%)	↓	5		4	消毒副生成物の水質基準に対する検出状況を表す
1115	直結給水率(%)	↑	68.3		71.3	直結給水の実施状況を表す
1116	活性炭投入率(%)	↓	-		-	粉末活性炭の投入状況を表す
1117	鉛製給水管率(%)	↓	16.2		15.8	鉛製給水管の残存状況を表す

安定:いつでもどこでも安定的に生活用水を確保

a) 連続した水道水の供給

番号	業務指標	評価目安	座間市(H17)		座間市(H18)	指標の意味
2001	給水人口一人当たり 貯留飲料水量(L/人)	↑	158		156	災害時等の飲料水確保の状況を表す
2002	給水人口一人当たりの配水量(L/日/人)	↑	316		312	給水人口1人あたりの水の消費量を表す
2003	浄水予備力確保率(%)	↑	-		-	水運用の安定性、柔軟性及び危機対応性を表す
2004	配水池貯留能力(日)	↑	0.98		0.98	給水に対する安定性や災害・事故等に対する危機対応性を表す
2005	給水制限数(日)	↓	0		0	水道サービスの安定性を表す
2006	普及率(%)	↑	99.7		99.7	水道サービスの利用状況を表す
2007	配水管延長密度(キロメートル/平方キロメートル)	↑	16.4		16.5	お客様からの給水申し込みに対する物理的な利便性を表す
2008	水道メータ密度(個/キロメートル)	↑	227		227	配水管路が担っている給水件数を表す

b) 将来への備え

番号	業務指標	評価目安	座間市(H17) 座間市(H18)		指標の意味
			座間市(H17)	座間市(H18)	
2101	経年化浄水施設率(%)	↓	-	-	浄水施設の経年度を表す指標。法定耐用年数(60年)を超えている浄水施設の施設能力が全能力に占める割合
2102	経年化設備率(%)	↓	-	-	電気・機械設備の経年度を示す指標。設備の種類に応じて設定された経年化年数(10~20年)を超えている電気・機械設備が総数を占める割合
2103	経年化管路率(%)	↓	42.4	43.7	管路の経年度を示す指標。法定耐用年数(40年)を超えている管路延長が総延長に占める割合
2104	管路の更新率(%)	↑	0.40	0.50	管路の信頼性の確保のための取り組み状況を表す
2105	管路の更生率(%)	↑	0.430	0.510	管路の信頼性の確保のための取り組み状況を表す
2106	バルブの更新率(%)	↑	0.58	0.77	バルブの信頼性の確保のための取り組み状況を表す
2107	管路の新設率(%)	↑	0.14	0.30	管路の信頼性の確保のための取り組み状況を表す

c) リスクの管理

番号	業務指標	評価目安	座間市(H17) 座間市(H18)		指標の意味
			座間市(H17)	座間市(H18)	
2201	水源の水質事故数(件)	↓	0	1	水源水質の安全性を表す
2202	幹線管路の事故割合(件/100キロメートル)	↓	0.0	3.9	幹線管路の安全性を表す
2203	事故時配水量率(%)	↑	-	-	浄水場停止時の配水量の割合からみた危機対応性を表す
2204	事故時給水人口率(%)	↓	-	-	浄水場停止時の給水人口の割合からみた危機対応性を表す
2205	給水拠点密度(箇所/100平方キロメートル)	↑	147.3	147.3	給水拠点の緊急時の利用しやすさを表す
2206	系統間の原水融通率(%)	↑	-	-	他系統から浄水場への融通可能な原水水量の割合。
2207	浄水施設耐震率(%)	↑	-	-	浄水施設の耐震化の状況を表す
2208	ポンプ所耐震施設率(%)	↑	0.0	0.0	ポンプ所の耐震化の状況を表す
2209	配水池耐震施設率(%)	↑	68.8	81.3	配水池の耐震化の状況を表す
2210	管路の耐震化率(%)	↑	0.1	0.4	管路の耐震化の状況を表す
2211	薬品備蓄日数(日)	↑	-	-	浄水場の災害時等の備えを表す
2212	燃料備蓄日数(日)	↑	-	-	浄水場の災害時等の備えを表す
2213	給水車保有度(台/1,000人)	↑	0.0100	0.0100	災害時等への備えを表す
2214	可搬ポリタンク・ポリバック保有度(個/1,000人)	↑	5.3	5.3	災害時等への備えを表す
2215	車載用の給水タンク保有度(立方メートル/1,000人)	↑	0.050	0.060	災害時等への備えを表す
2216	自家発電設備容量率(%)	↑	56.9	56.9	災害時等への備えを表す
2217	警報付施設率(%)	↑	53.9	53.9	水道施設の安全確保に関する指標
2218	給水装置の凍結発生率(件/1,000件)	↓	0.0	0.0	寒波などによる凍結の発生状況を表す

持続:いつまでも安心できる水を安定して供給

四捨五入

a) 地域特性にあった運営基盤の強化

番号	業務指標	評価目安	座間市(H17) 座間市(H18)		指標の意味
			座間市(H17)	座間市(H18)	
3001	営業収支比率(%)	↑	102.4	97.0	事業の収益性を表す
3002	経常収支比率(%)	↑	108.6	106.1	事業の収益性を表す
3003	総収支比率(%)	↑	106.1	105.2	事業の収益性を表す
3004	累積欠損金比率(%)	↓	0.0	0.0	経営状況の健全性を表す
3005	繰入金比率(収益的収支分)(%)	↓	0.8	0.8	他会計からの繰入金に対する依存度を表す

番号	業務指標	評価目安	座間市		指標の意味
			(H17)	(H18)	
3006	繰入金比率(資本的収入分)(%)	↓	3.3	3.9	他会計からの繰入金に対する依存度を表す
3007	職員一人当たり給水収益(千円/人)	↑	66,408	68,210	職員1人あたりの生産性を表す
3008	給水収益に対する 職員給与費の割合(%)	↓	14.0	14.4	事業の収益性を表す
3009	給水収益に対する 企業債利息の割合(%)	↓	5.3	4.6	事業の収益性を表す
3010	給水収益に対する 減価償却費の割合(%)	↓	32.4	32.6	事業の収益性を表す
3011	給水収益に対する 企業債償還金の割合(%)	↓	12.5	13.2	財務状況の安全性を表す
3012	給水収益に対する 企業債残高の割合(%)	↓	116.1	107.0	財務状況の安全性を表す
3013	料金回収率(%) (給水にかかる費用のうち水道料金で回収する割合)	↑	94.5	88.4	事業の収益性を表す
3014	供給単価(円/立方メートル)	↑	117.4	116.9	有収水量1m ³ あたりの売上高を表す
3015	給水原価(円/立方メートル)	↓	124.2	132.1	有収水量1m ³ を生産するためにかったコストを表す
3016	1箇月当たり家庭用料金(10立方メートル)(円)	↓	760	760	料金水準を表す
3017	1箇月当たり家庭用料金(20立方メートル)(円)	↓	1,650	1,650	料金水準を表す
3018	有収率(%)	↑	96.4	96.8	施設の効率性を表す
3019	施設利用率(%)	↑	76.4	75.3	施設の効率性を表す
3020	施設最大稼働率(%)	↑	86.0	83.4	施設の効率性を表す
3021	負荷率(%)	↑	88.8	90.3	季節的な需要変動の大きさを表す
3022	流動比率(%)	↑	644.9	724.5	短期的な支払能力から見た財務状況の安全性を表す
3023	自己資本構成比率(%)	↑	87.1	88.5	資本構成から見た財務状況の安全性を表す
3024	固定比率(%)	↓	100.0	100.6	固定資産投資から見た財務状況の安全性を表す
3025	企業債償還元金対 減価償却費比率(%)	↓	38.6	40.5	再投資財源の確保状況から見た財務状況の安全性を表す
3026	固定資産回転率(回)	↑	0.03	0.03	施設の効率性を表す
3027	固定資産使用効率(立方メートル/10,000円)	↑	10.1	10.0	施設の効率性を表す

b) 水道文化・技術の継承と発展

番号	業務指標	評価目安	座間市		指標の意味
			(H17)	(H18)	
3101	職員資格取得度(件/人)	↑	-	0.10	日本水道協会の定める資格の取得状況を表す
3102	民間資格取得度(件/人)	↑	0.0	0.0	配水管工技能講習会・配管設計講習会の修了者、浄水施設管理技師(1.2級)、管路施設管理技師(1・2級)の取得状況を表す
3103	外部研修時間(時間)	↑	5.6	2.4	職員の資質向上のための取組状況を表す
3104	内部研修時間(時間)	↑	0.0	0.0	職員の資質向上のための取組状況を表す
3105	技術職員率(%)	↑	39.4	38.7	全職員に占める技術職員の割合
3106	水道業務経験年数度(年/人)	↑	6.3	5.6	職員の水道業務の経験年数を表す
3107	技術開発職員率(%)	↑	-	-	水道の技術開発に対する人的投資の度合いを表す
3108	技術開発費率(%)	↑	-	-	水道の技術開発に対する投資の度合いを表す
3109	職員一人当たり配水量(立方メートル/人)	↑	444,000	467,000	水道サービスの効率性を表す
3110	職員一人当たりメータ数(個/人)	↑	1,915	2,047	水道サービスの効率性を表す
3111	公傷率(%)	↓	0.000	0.110	安全衛生管理にかかる指標
3112	直接飲用率(%)	↑	-	78.2	アンケートにおいて水道水を直接飲用していると回答した人の割合

c) 消費者ニーズをふまえた給水サービスの充実

番号	業務指標	評価目安	座間市(H17) 座間市(H18)		指標の意味
			座間市(H17)	座間市(H18)	
3201	水道事業に係る 情報の提供度(部/件)	↑	6.7	5.0	広報活動の実施状況を表す
3202	モニタ割合(人/1,000人)	↑	-	-	広聴活動の実施状況を表す
3203	アンケート情報収集割合(人/1,000人)	↑	-	0.87	広聴活動の実施状況を表す
3204	水道施設見学者割合(人/1,000人)	↑	4.8	4.6	広報活動の実施状況を表す
3205	水道サービスに対する苦情割合(件/1,000件)	↓	0.00	0.00	お客様の満足度を表す
3206	水質に対する苦情割合(件/1,000件)	↓	0.11	0.35	お客様の満足度を表す
3207	水道料金に対する苦情割合(件/1,000件)	↓	0.060	0.060	お客様の満足度を表す
3208	監査請求数(件)	↓	0	0	法令に基づき水道事業に関して監査請求された件数
3209	情報開示請求数(件)	↑	0	0	法令に基づき水道事業に関して情報開示請求された件数
3210	職員一人当たり受付件数(件/人)	↑	304	560	水道サービスの効率性を表す

持続:いつまでも安心できる水を安定して供給

a) 地域特性にあった運営基盤の強化

番号	業務指標	評価目安	座間市(H17) 座間市(H18)		指標の意味
			座間市(H17)	座間市(H18)	
4001	配水量1立方メートル当たり電力消費量(kWh/立方メートル)	↓	0.52	0.51	事業活動が環境に与える影響を表す
4002	配水量1立方メートル当たり消費エネルギー(MJ/立方メートル)	↓	1.87	1.85	事業活動が環境に与える影響を表す
4003	再生可能エネルギー利用率(%)	↑	0.0	0.0	再生可能エネルギーの利用状況から見た、環境負荷低減に対する取り組み状況を表す
4004	浄水発生土の有効利用率(%)	↑	-	-	浄水発生土の有効利用状況から見た、環境負荷低減に対する取り組み状況を表す
4005	建設副産物のリサイクル率(%)	↑	100.0	100.0	建築副産物のリサイクル状況から見た、環境負荷低減に対する取り組み状況を表す
4006	配水量1立方メートル当たり二酸化炭素(CO2)排出量(g・CO2/立方メートル)	↓	198	196	事業活動が環境に与える影響を表す

b) 健全な水循環

番号	業務指標	評価目安	座間市(H17) 座間市(H18)		指標の意味
			座間市(H17)	座間市(H18)	
4101	地下水率(%)	↑	82.7	82.3	水源としての井戸水の利用状況を表す

管理:水道システムの適正な実行・業務運営及び維持管理

a) 適正な実行・業務運営

番号	業務指標	評価目安	座間市(H17) 座間市(H18)		指標の意味
			座間市(H17)	座間市(H18)	
5001	給水圧不適正率(%)	↓	-	-	給水サービスが適正に提供されているかを表す
5002	配水池清掃実施率(%)	↑	275	195	配水池の管理状況を表す
5003	年間ポンプ平均稼働率(%)	↓	41.1	39.4	ポンプ施設の余裕度を表す
5004	検針誤り割合(件/1,000件)	↓	-	-	検針業務が適正に行われているかを表す
5005	料金請求誤り割合(件/1,000件)	↓	0.43	0.17	料金請求業務が適正に行われているかを表す
5006	料金未納率(%)	↓	15.8	16.7	料金が適正に収納されているかを表す
5007	給水停止割合(件/1,000件)	↓	0.8	9.3	給水停止の実行状況を表す
5008	検針委託率(%)	↑	100.0	100.0	検針業務委託を表すの実行状況を表す
5009	浄水場第三者委託率(%)	↑	-	-	第三者委託の実施状況を表す

b)適正な維持管理

番号	業務指標	評価目安	座間市		指標の意味
			(H17)	(H18)	
5101	浄水場事故割合(10年間の件数/箇所)	↓	-	-	浄水場の維持管理が適正に行われているかを表す
5102	ダクタイル鋳鉄管・鋼管率(%)	↑	79.5	80.6	管路の維持管理の容易性を表す
5103	管路の事故割合(件/100キロメートル)	↓	0.0	0.7	管路の維持管理が適正に行われているかを表す
5104	鉄製管路の事故割合(件/100キロメートル)	↓	0.0	0.7	鉄製管路(鋳鉄管・ダクタイル鋳鉄管・鋼管)の維持管理が適正に行われているかを表す
5105	非鉄製管路の事故割合(件/100キロメートル)	↓	0.0	0.0	非鉄製管路(塩化ビニル管等)の維持管理が適正に行われているかを表す
5106	給水管の事故割合(件/1,000件)	↓	-	3.0	給水管の維持管理が適正に行われているかを表す
5107	漏水率(%)	↓	0.1	0.2	漏水の発生状況から見た施設の健全性を表す
5108	給水件数当たり漏水量(立方メートル/年/件)	↓	0.4	0.7	漏水の発生状況から見た施設の健全性を表す
5109	断水・濁水時間(時間)	↓	0.00	0.00	想定外の断水・濁水の発生状況を表す
5110	設備点検実施率(%)	↑	154	154	水道施設の維持管理の適正度を表す
5111	管路点検率(%)	↑	5	5	管路の健全性確保のための取り組み状況を表す
5112	バルブ設置密度(基/キロメートル)	↑	22.5	22.8	配水操作の柔軟性や管路の維持管理の容易性を表す
5113	消火栓点検率(%)	↑	100.0	100.0	消火栓の維持管理の状況を表す
5114	消火栓設置密度(基/キロメートル)	↑	3.5	3.5	管路施設の消防能力や救命ライフラインとしての危機対応能力を表す
5115	貯水槽水道指導率(%)	↑	0.4	0.1	私有財産である貯水槽水道に対する関与の状況を表す

国際:我が国の経験の海外移転による国際貢献

a)技術の移転

番号	業務指標	評価目安	座間市		指標の意味
			(H17)	(H18)	
6001	国際技術等協力度(人・週)	↑	-	-	水道事業に関する海外との技術協力の取組状況を表す

b)国際機関、諸国との交流

番号	業務指標	評価目安	座間市		指標の意味
			(H17)	(H18)	
6101	国際交流数(件)	↑	-	-	水道事業に関する国際協力の取組状況を表す